

## 3月12日「世界腎臓デー」 さっぽろテレビ塔をグリーンライトアップ

### 【概要】

北海道大学病院血液浄化部は、世界腎臓デー(World Kidney Day)に合わせて、慢性腎臓病(CKD)の啓発活動を行います。

CKDは、腎臓の働きが徐々に低下する病気で、日本国内には約1,330万人の患者がいると推計されています。これは成人の約8人に1人に相当し、新たな国民病とも言われています。CKDは初期には自覚症状がほとんどなく、進行すると透析や腎移植が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスクも高まります。

本キャンペーンでは、さっぽろテレビ塔をCKDのシンボルカラーであるグリーンにライトアップし、道民の皆様へCKDへの関心を高めていただき、早期発見・早期治療の重要性を呼びかけます。また、北海道におけるCKD対策の地域連携を推進し、医療機関、行政、市民が一体となって腎臓の健康を守る体制づくりを目指します。

【日 程】 2026年3月12日(木) 18:00点灯

【場 所】 さっぽろテレビ塔

※別紙のポスターをご覧ください

### お問い合わせ先

北海道大学病院 血液浄化部 事務局

T E L 011-706-7091 F A X 011-706-7091

メール [joukabu@med.hokudai.ac.jp](mailto:joukabu@med.hokudai.ac.jp)

### 配信元

北海道大学病院総務課 (〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目)

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール [pr\\_office@huhp.hokudai.ac.jp](mailto:pr_office@huhp.hokudai.ac.jp)

# 3月12日「世界腎臓デー」 さっぽろテレビ塔をグリーンライトアップ

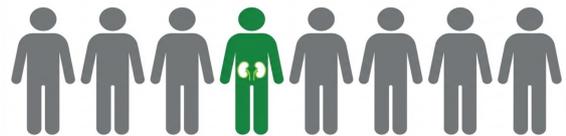
## 北海道における慢性腎臓病（CKD）対策の地域連携を推進



 2026年3月12日（木）18:00点灯

 さっぽろテレビ塔

 北海道大学病院 血液浄化部



日本で約8人に1人がCKD患者

慢性腎臓病（CKD）は自覚症状が少なく、進行するまで気づきにくい病気です。早期発見・早期治療が重要です。

北海道大学病院 血液浄化部は、世界腎臓デー（World Kidney Day）に合わせて、慢性腎臓病（CKD）の啓発活動を行います。

CKDは、腎臓の働きが徐々に低下する病気で、日本国内には約1,330万人の患者がいると推計されています。これは成人の約8人に1人に相当し、新たな国民病とも言われています。CKDは初期には自覚症状がほとんどなく、進行すると透析や腎移植が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスクも高まります。

本キャンペーンでは、さっぽろテレビ塔をCKDのシンボルカラーであるグリーンにライトアップし、道民の皆様に関心を高めていただき、早期発見・早期治療の重要性を呼びかけます。また、北海道におけるCKD対策の地域連携を推進し、医療機関、行政、市民が一体となって腎臓の健康を守る体制づくりを目指します。

主催：北海道大学病院 血液浄化部

後援：北部CKDねっと

